



平成 29 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 K I ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 山口 常雄
 (コード番号 6747 東証第 2 部)
 問 合 せ 先 取締役 若林 秀和
 (TEL 045-826-6711)
 当社の親会社 株式会社 小糸製作所
 代 表 者 名 取締役社長 三原 弘志
 (コード番号 7276 東証第 1 部)

平成 29 年 9 月期 第 2 四半期累計期間 業績予想値と決算値との差異、 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 3 月 24 日に開示いたしました平成 29 年 9 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので、お知らせいたします。

あわせて最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 3 月 24 日に開示いたしました平成 29 年 9 月期通期の業績予想について下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 9 月期 第 2 四半期累計期間(平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)業績予想数値と 決算値との差異

(1) 差異の内容

－ 1 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 24,200	百万円 1,600	百万円 1,700	百万円 1,000	円 銭 24.13
今回修正予想 (B)	25,384	2,294	2,423	1,477	35.67
増 減 額 (B - A)	1,184	694	723	477	11.54
増 減 率 (%)	4.9	43.4	42.6	47.8	—
(ご参考) 前期実績	30,937	3,963	3,958	3,470	83.75

－ 2 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 100	百万円 △500	百万円 300	百万円 400	円 銭 9.65
今回修正予想 (B)	172	△429	1,076	1,229	29.66
増 減 額 (B - A)	72	71	776	829	20.01
増 減 率 (%)	72.0	—	258.8	207.3	—
(ご参考) 前期実績	218	△410	381	1,834	44.26

(2) 差異の理由

- ―連結：売上高につきましては、国内における道路情報板、道路・トンネル照明等、一部工事の部分完成や、既に完成している物件の追加工事、変更等により、増収となりました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、上記増収要因に加え、人件費、その他経費等の費用支出抑制により、増益となりました。
- ―個別：売上高につきましては、補給部品の出荷増により、増収となりました。営業利益につきましては、売上の増加及び人件費、その他経費等の費用支出抑制により、増益となりました。経常利益及び四半期純利益につきましては、下期計上を見込んでいた子会社からの受取配当金が上期計上となったこと等により、増益となりました。

2. 平成 29 年 9 月期 通期(平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日) 業績予想の修正

(1) 修正の内容

― 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 45,000	百万円 2,400	百万円 2,500	百万円 1,300	円 銭 31.37
今回修正予想(B)	45,000	2,800	2,900	1,500	36.20
増減額(B-A)	―	400	400	200	4.83
増減率(%)	―	16.7	16.0	15.4	―
(ご参考) 前期実績	52,593	5,312	5,005	3,375	81.46

― 2 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 200	百万円 △1,000	百万円 1,100	百万円 1,200	円 銭 28.96
今回修正予想(B)	250	△950	850	1,050	25.34
増減額(B-A)	50	50	△250	△150	△3.62
増減率(%)	25.0	―	△22.7	△12.5	―
(ご参考) 前期実績	329	△979	1,537	2,825	68.19

(2) 修正の理由

- ―連結：営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、人件費、その他経費等の費用支出抑制により、増益となる見通しであります。
- ―個別：売上高につきましては、補給部品の出荷増により、増収となる見通しであります。営業利益につきましては、人件費、その他経費等の費用支出抑制により、増益となる見通しであります。経常利益及び当期純利益につきましては、子会社からの受取配当金の減少等により、減益となる見通しであります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上